

国際

# こだいら



2011年

No.63

*Kodaira International Friendship Association News*



2011年2月26日(土)

ひな祭りの集い



# 「20周年記念式典」

1月30日(日)、『小平市国際交流協会設立20周年記念式典』が、ルネこだいらレセプションホールで行われました。受け付けのKIFAのスタッフにいつもと違う緊張感。会場に入ると、20周年式典とあって着物姿などの正装が目立ち、ちょっとおごそかな雰囲気です。式は『第一部・式典』『第二部・記念講演』『第三部・懇親パーティー』から成り、式典は山之内理事長の開会の挨拶に始まり、市長、市議会議長に祝辞を賜った後、事務局長からここ10年間の経過報告がありました。KIFAでは沢山の外国人との交流があり、日本語教室を利用した外国人だけでも18,000人なのだそうです。記念講演では、津田塾大学学長の飯野正子様による「グローバルに、ローカルに～これからの国際交流～」の演題で、「他の国を知る事は、自分の国を知る事であり、一人一人が個を確立し、視野を

広げる事によって双方に学び合う事が国際交流になるのだ…」と、学ばせていただきました。そして、懇親パーティー。沢山の御馳走を前に米山顧問の乾杯の挨拶で、すっかり和やかなムードに。小平市の無形民族文化財「鈴木囃子」では、太鼓や笛に合わせ、狐、獅子、ひょっとこ、おかめが面白可笑しく踊って場を盛り上げ、恒例の「外国人の着物体験」では、女性からは「帯がきつくて、せっかくの御馳走が食べられない。」、逆に「食べられないから、ダイエットになって良い。」などの感想が…。最後は安部副理事長の閉会の挨拶で、3時間半に及ぶ盛大なパーティーは幕を閉じました。



鎌倉バスツアー 11/28(日)



こだいら国際交流芸術展 11/30～12/5



都内探訪バスツアー 2/20(日)



留学生と市民のもちつき交流パーティー 1/15(土)



こだいら市民駅伝 2/6(日)

## KIFA 写真館

2010年11月～2011年2月

### 平成23年度は 次のような事業を行います

#### I 国際理解及び国際親善の普及事業

国際こどもクラブ(2期2クラス)、日本語会話教室、英会話教室(レベル別クラス、シニア英会話)、外国語会話教室、国際交流芸術展

#### II 地域における友好交流事業

国際交流フェスティバル、餅つき交流パーティー、ホームビジット、バスハイク、ひな祭り等

#### III 地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業

世界の料理紹介、世界の文化紹介、外国人のための華道入門

#### IV 国際交流情報の収集及び地域への提供事業

機関紙(年3回)・情報紙(年10回)の発行、情報提供コーナーの運営、電子情報の発信

#### V その他協会目的達成のために必要な事業

ボランティア活動の推進、新年交流会、協会PR活動等の推進

### 平成23年度収支予算(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

○収入の部		(単位:千円)
科目	予算額	
賛助会費収入	1,402	
補助金収入(市補助金等)	13,873	
寄附金収入	1	
積立金繰入	2,218	
事業収入	6,335	
雑収入(預金利息等)	6	
前年度繰越金	300	
収入合計	24,135	
○支出の部		
科目	予算額	
事業費	9,208	
国際理解及び国際親善の普及事業	5,214	
地域における友好交流事業	1,181	
地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業	369	
国際交流情報の収集及び地域への提供事業	1,910	
その他協会目的達成事業	534	
管理費(管理運営費)	14,526	
積立金	1	
予備費	400	
支出合計	24,135	

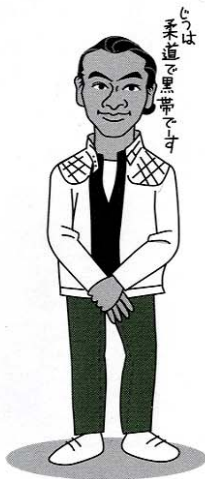


# インタビュー ラオス

ラオス人のサヤシット・チェッさんにインタビューしました。チェッさんはタイ東北部と国境を接するターケーク地方出身で現在小金井市在住。一昨年来日し、国分寺でラオス・タイ料理店を経営されているお姉さんのお店でコックとして働いています。

◎ラオスでもコックだったのですか？

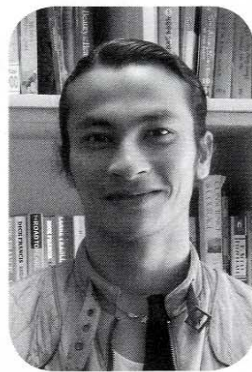
母国では警察官として7年間働いていました。柔道では黒帯でしたし、ベトナム語を習得し任務にあたっていました。日本に住んでいる姉が料理店を開くというので警察を辞め料理を学んだ後、来日しました。それまでは日本に行くことを考えたこともなかったし、日本のイメージもありませんでした。



チェッさんは柔道で黒帯です

◎日本語もラオスで少し勉強して来たのですか？

いえ、そもそも日本語を学べる場所はほとんどありません。子供が放課後に学ぶ塾はあり多くの子供が通っていますが英語が主です。僕は来日後に日本のテレビを見て辞書を引きながら勉強しました。よく見るのはバラエティ番組、ドラマでは日本のドラマも見ますが、やっぱり韓国ドラマ！日本語を学ぶには韓国ドラマの字幕つき吹き替え版のほうが話も分かりやすく理解しやすいです。ラオスで見ていたタイのドラマと展開が似ていますね。



漢字も勉強していますが、難しいです！将来ラオスに帰国しても勉強は続けたいと思っています。仕事にも活かせるといいです。

◎ラオスと日本の文化の違いで戸惑ったことは？

たくさんあります。日本人の「本音と建前」の使い方もそうですし、食生活も違います。またラオスでは仏教に由来する休日がいくつかありますが日本にはありません。あと僕は歩くのが好きで自宅から料理店まで歩きますが日本人は歩くのが早いのでびっくりしました！

◎ラオスを旅行する人にアドバイスを

やはり世界遺産のルアンパバンですね。緑豊かで美しい街です。食べるものもタイ料理よりマイルドです。「青パパイヤのサラダ」「もち米料理」「ラオス風ヤキトリ」「たけのこのスープ」がおすすめです。野生動物も多く、リスはたくさんいますよ。

終始おだやかに話すチェッさんですが、言葉の壁もあり苦労は多かったようです。しかし最近ではK I F Aを通じて友人も増え、行事にも積極的に参加して日本語が格段に上達しているチェッさん。今後も仕事を続けながらたくさんの友人、そして思い出を作ってくださいね！

## 「おもしろ異文化講座 韓国」

11月20日(土)。小学校教師として約10年のキャリアを持つジョ・ハンギさんを講師に迎え、「おもしろ異文化講座 韓国」が開かれました。東京学芸大学に教員研修留学生として在籍し、日本の小学校でも教えた経験から、韓国と日本の教育の違いを話していただきました。日本の小学生は真冬でも半ズボンで、全員がランドセル。これって韓国人からみると不思議な画一性の様です。運動会の種目が何十年と変わらず、学芸会などの垂れ幕が手書きであること。これもかなり古めかしいらしく、韓国では時代に即した内容にどんどん変わり、垂れ幕も注文で作った豪華なものだそうです。英語教育も低学年から始まり、授業もマルチメディアを活用して、質の良い授業用コンテンツを



ランドセルは…

用いて日本よりもずっと先進的！とはいえ、どっちの教育が良いとは一概にはいえ、垂れ幕やプログラムなどが子ども達の「手作り」であるのに感動し、むしろ日本の底力さえ感じるそうです。また、韓国の家庭は教育熱心のあまり、子ども達は夜の10時過ぎまで塾通いし、成績が上がらないのを苦に自殺者まででるといふ社会問題も…。でも、日本の様ないじめや教師の自殺は少ないとの事。プロジェクターを駆使し、丁寧に説明するジョ・ハンギさんの姿は“先生”そのものでした。質疑応答では、韓国のめざましい経済的発展の秘密に迫ろうと“経済と教育の関連”についてかなり熱心に追求する方もいて、ジョ・ハンギさんもたじろぐ程でした。





## 「世界の料理」 イギリス 12月8日(水)

イギリス料理、と言ってもピンと来る人は少ないのではないのでしょうか？当日は『はてなマーク』を頭に浮かべたまま会場に到着。今回講師を務めてくださったのはイギリス・プリマス出身のナイジェル・デイヴィッド・ヘンデンさんと、奥様の文代さんです。



メニューはハーブを効かせたイギリス家庭料理『スコッチ・エッグズ』、『ポテト アンド リークスープ』、そしてデイヴィッドさんが大好きだというゼリー状にしたハーブティーとカスタードをスポンジケーキにのせたデザート『トライフル』、そしてつけ合わせの野菜サラダです。料理の実演はもっぱら文代さん。日本では塩・コショウで下味をつけるような時、イギリスの料理はハーブが多く使われるようで、この手間が料理を奥深いものにしていきます。しかし食材は日本で入手が難しいものもあり、例えばスープの材料である『リーク』は日本の長ネギで代用。トライフルで使うハーブティーもローズヒップティーのような酸味のあるお茶でよいそうです。デイヴィッドさんは料理を作る文代さんの横で英語を交えてオヤジギャグを連発するのですが、各グループを回っては受講生の皆さんに的確にアドバイスしていただき、スムーズに楽しく料理を進めていくことができました。

ご夫婦を交えてのお食事タイムでは、文代さんがイギリス料理をデイヴィッドさんのお母様から習ったことやイギリスの食習慣、また写真を使ってデイヴィッドさんの故郷を紹介していただきました。日本と同じくイギリスにも各家庭のおふくろの味があるようです。

普段の料理にひと手間加えるだけで、思い出に残るものになりますね。

### 編集後記

出あい・別れ。  
編集に参加して一番たのしいのは、出あいです。取材は毎年おなじ所にも関わらず、人は違っているし、いつのまにか、15年以上になりました。  
別れた人も多勢います。(T)

## 「外国人のための茶道入門」

11月13日～12月11日 毎週土曜日

2年に1度あるこの講座は、5回でひと通りの茶道をマスターする入門講座です。

今日はその2回目の教室にお邪魔しました。

表千家の先生方のやさしいご指導のもと、フランス・中国・韓国の生徒さんたちがふくさのさばき方を練習しています。茶道はとても細かい作法があって、われわれ日本人でもとっても難しいですよ！それなのに生徒さんの中には初めての茶道体験なのに、上手にふくさを扱う人もいてびっくり！

今日は「お盆点前」という気軽なお点前を教えてくださいますが、それでもふくさの扱いから始まり「なつめからお茶をはく」「切り柄杓と置き柄杓」「茶せんでお茶を点てる」「お茶をいただく」「お茶碗拝見」…と覚えることはいっぱい！！今日はフランス人大学生のギュイヨさんが代表してお点前をしましたが、なかなか筋の良い感じで今教わったことをすぐに実践！日本人よりも茶道の精神がわかっていらっしゃるのでは？と驚くほど見た目も背筋スッキリの美しさでした。先生も「壮麗なお手並みです。心の素直な方は受け入れる力が大きいですね」と感心することしきり！

…でも立派なお点前の後、実はその場から動けなくなったギュイヨさん…日本人でも正座はなかなかキビシ～ですね！最後はみんなの笑いをとっていました(^\_^)



## 「ひな祭りの集い」

2月26日(土)午後、KIFAと小平市木目込人形の会共催で、ひな祭りの集いがありました。ステージ横にひな人形が飾られて、外国人の着物姿の紹介と写真撮影、琴の演奏と体験があり、そして日本舞踊を楽しく観て、最後は花笠音頭を全員で踊りました。折紙コーナーも盛況でした。春を感じる暖かい、風もないよいお天気でした。

発行日 平成23年4月1日  
発行 小平市国際交流協会  
編集 機関紙グループ

〒187-0045  
小平市学園西町2-12-22  
学園西町地域センター3階  
☎ 042-342-4488  
FAX. 042-347-3003

